

# Express

Spring 2018

**NEXCOM**

Japan Edition

[www.nexcom-jp.com](http://www.nexcom-jp.com)



## In Depth

特集1 車載サーバによりエッジデバイスのインテリジェント化を実現

## What's Hot

ネットワークのNEXCOMがお届けするコミュニケーション&ネットワークソリューションのご紹介

## Technology Partners

有償製品にも劣らない品質と機能を持つオープンソースのシステム統合監視ソフトウェア Zabbix Japan

## 日本のパートナーの皆様

IoT がますます一般的になってくるにつれ、エッジのインテリジェンス化を実現する車載サーバや、ターゲット広告のためのスマートシェルソリューションをはじめとする多くの実用分野が登場しています。とはいえ、予想される壮大な IoT 市場の未来に比べ、現在の IoT 展開はまだ非常に限定的なものとなっています。しかし NEXCOM には、IoT ソリューションをごくシンプルかつ容易にプログラムし展開することができる強力なツールがあるため、問題なく IoT の実現に向けて進めることができます。

例えば、NEXCOM の強力な IoT 開発ツール「IoT Studio」ならば IIoT (Industrial IoT) の接続をまるで「プラグ & プレイ」のように簡易化することができ、プログラマーは IoT アプリケーションを簡易かつ迅速に開発できるようになります。またロボットおよびスマートマシン向け開発ツール「NexROBA」ならば、EtherCAT ベースのオープン・ロボット & マシンのアルゴリズム、アプリケーションを簡単、迅速に開発できます。つまり、NEXCOM は成長著しい IIoT やスマートマシン、すなわち Industry 4.0 時代のエコシステムのカギを握っていると言えます。

しかし、物事は常にスムーズに進むとは限りません。理論と現実には大きな違いがあるのです。特に、Industry 4.0 関連ソリューションの開発・展開に適した人材の数は需要を大きく下回っているため、Industry 4.0 関連テクノロジーに関する教育は極めて重要です。NEXCOM がスマートマシンや IIoT などの Industry 4.0 関連の教育に取り組んでいるのはそのためです。

現在、NEXCOM はいくつかの大学で、EtherCAT ベースのオープンスタンダード・ロボットと、AI 関連の予防保全に関するトレーニングコースを開講しています。このほかにも IIoT やプライベートクラウドに関するコースを開講することになっており、段階的に Industry 4.0 のトータルソリューションのあらゆる領域・階層をカバーしてまいります。

### Clement Lin

Chairman & CEO  
NEXCOM International Co., Ltd.



各大学のみならずインキュベーターからも非常に高い評価を得ており、NEXCOM ではこれが正しいアプローチであると確信しています。今後もより多くの教育機関と提携し、適切な技能を持つ卒業生・メーカーを排出することで Industry 4.0 エコシステムの発展を促進していきたいと考えています。

教育システムへの参加は長期的なメリットを見越した投資であり、ビジネスになり得ます。第一に、NEXCOM 環境を熟知した卒業生を多く育てることができ、間違いなく近い将来の NEXCOM 事業にとってプラスとなります。第二に、教育機関や学生、エンジニアに開発キットを販売できる可能性があります。例えば、ロボットのスターターキットのほか、ロボットの授業、IoT の授業、スマートストアの授業などのトータルパッケージを販売するチャンスが得られるでしょう。

現在、多くの大学で Industry 4.0 関連のテクノロジーに対するトレーニングが強く求められています。私はこれを「教育の大波」と呼んでいます。これは世界的な現象であり、NEXCOM はそのなかで独自のリーダーとしての地位を有しています。教育を通じて NEXCOM とともに Industry 4.0 のエコシステムを押し上げていきましょう。

### Clement Lin

# CONTENTS



18

Zabbix 本社があるラトビア共和国の首都リガの街並み



23

上野動物園のシャンシャン

## 02 Message from CEO

### In Depth

- 04 特集1 車載サーバによりエッジデバイスのインテリジェント化を実現
- 09 特集2 ターゲット広告のためのスマートセルフソリューション

### What's Hot

- 12 新製品情報
- 13 ネットワークの NEXCOM がお届けする  
コミュニケーション&ネットワークソリューションのご紹介

### Technology Partners

- 18 有償製品にも劣らない品質と機能を持つ  
オープンソースのシステム統合監視ソフトウェア  
Zabbix Japan

### Tech Review

- 20 Windows10 IoT Enterprise へ移行するメリット  
セキュリティ強化とコストダウン

### IPC Chinese

- 22 今日から使える？ IPC 中国語会話

- 23 Editor's note

- 24 Event Info

## NEXCOM EXPRESS Japan Edition Spring 2018

### 発行元

株式会社ネクコム・ジャパン

〒108-0014 東京都港区芝 4-11-5 田町ハラビル 9 階

TEL : 03-5419-7830

### お問い合わせ

sales@nexcom-jp.com

### Web

www.nexcom-jp.com

### Editors

Tomoyuki Asaumi, Yoshitaka Takeda, Aki Kanke, Goro Handa

### About NEXCOM

Founded in 1992, NEXCOM integrates its capabilities and operates six global businesses, which are IoT Automation Solutions, Intelligent Digital Security, Internet of Things, Intelligent Platform & Services, Mobile Computing Solutions, and Network and Communication Solutions. NEXCOM serves its customers worldwide through its subsidiaries in five major industrial countries. Under the IoT megatrend, NEXCOM expands its offerings with solutions in emerging applications including IoT, robot, connected cars, Industry 4.0, and industrial security. [www.nexcom.com](http://www.nexcom.com)



## In Depth

# 車載サーバによりエッジデバイス

現在、車載 NVR（車載向けネットワーク監視用ビデオレコーダ）は大きな課題に直面しています。4G/5G テクノロジーとクラウドサービスにより、より高機能なビデオ監視アプリケーションへの期待が高まっています。エッジ側で事前にデータ解析を行うことにより効率性を高めるテクノロジーのひとつです。こうした期待に応え、遅延にさせようとしているのです。

本稿では、既存の車載 NVR にとどまらず、その他車載システムに関わる重要課題に対処可能な、新世代には、Intel® Core™ および Intel Atom® プロセッサを搭載した NEXCOM の MVS シリーズ車載サーバを紹介しています。また、機密性の高いデータや個人情報を取り扱う際に、NEXCOM と Intel® を強化する、多重セキュリティ機構を提言します。



## 2018 Spring 特集 1

# スマートシティのインテリジェント化を実現

4Kなどのより多くの高解像度カメラへの要求や、データ容量が高まっています。ディープラーニングもまた、スマートシティのテクノロジーの変化が、既存の車載 NVR を時

代わらないタイプの車載サーバを紹介します。具体的な構成が、様々な状況でどの様にシステム要件に対応しているかのテクノロジーを活用してデータセキュリティ

### テクノロジーの変化

車載 NVR はもともとストレージサーバとして、複数のカメラからのビデオ画像を集積し、デジタル形式に変換してハードディスクに保存、必要に応じてハードディスク上の圧縮ビデオ画像をデコードして、画面に表示したり、映像解析を行うデータセンターに送信しています。

しかし、シャープで鮮やかな画像を実現する 4K 対応 IP カメラの登場により、この手法は難しい局面にさしかかっています。4K 対応 IP カメラはいまだ普及途上とはいえ、カメラ自体はセキュリティや運用上の理由から広く普及しています。そして、より多くのカメラからより多くのビデオ画像が送られるほど、データセンターのみで映像解析を行う手法ではデータ帯域幅に極めて大きな負荷がかかり、当然のことながら接続品質が落ちれば、ビデオ画像や解析結果の伝送に遅延が生じます。同時に、セキュリティや個人情報に関する懸念も増えることとなります。

問題を複雑にしているのは、働くクルマにはカーナビやフリートマネジメント、車載インフォテインメント、LPR（ナンバープレート認識）などのために多くのシステムが搭載されている点です。通常これらのシステムは特定用途向けに独立して設計・運用されているため、車両の電力や設置場所を奪い合うばかりか、ドライバーや同乗者のスペースまで狭めてしまいます。

そこでこれからのシステムは、最新のビデオコーデック規格に対応し、多数のカメラ構成が可能なシステムアーキテクチャを有し、データセンターでの映像解析負荷を軽減するとともに、電力や設置スペースの削減が可能な、多様なシステムの機能をひとつのハードウェアに統合しものでなければなりません。車載用途に特化した NEXCOM の MVS シリーズ車載サーバは、これらすべての要件に対応しています。



## In Depth

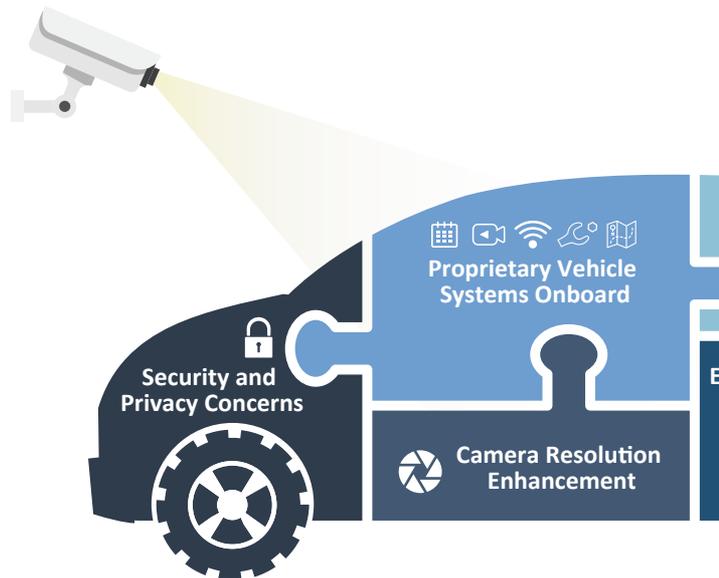
### 動き出す車載サーバ

#### 強化されたメディア処理

NEXCOM の MVS シリーズは、Intel® Core™ i7-6600U/ i3-6100U プロセッサ搭載の MVS 5603 や、Intel Atom® x7-E3950 プロセッサ搭載の MVS 2623 など、スケーラブルなパフォーマンスを提供しています。また、メディア・コーデックを活用し、H.265 として知られる HEVC (High Efficiency Video Coding) とビデオ画像とのエンコード/デコードを可能にします。車載アプリケーションにおける更なる高解像度 IP カメラのユーザビリティ向上により、HEVC は 8K 解像度に対応、AVC (Advanced Video Coding) や H.264 に比べて圧縮率は約 2 倍です。さらに NEXCOM の MVS シリーズは、H.265 に対する性能と Intel プロセッサの統合グラフィック・エンジンにより、PoE (Power over Ethernet) 接続を介して 6 ~ 8 チャンネルの高解像度 IP カメラと接続しビデオ画像を集積、スムーズに画像データを変換し、デュアルディスプレイにライブ表示することが可能です。

つまり MVS シリーズでは、他の用途のための演算能力を節約し、映像解析などの、より重要な目的に活用できるのです。最新のシリコンテクノロジーにより、Intel プロセッサは優れたパフォーマンスとともに独自の特徴を持ち合わせています。クアッドコア処理、高速なメモリスピード、32GB のメモリなどが、12 ~ 15W の小型ファンレスデザインを構成し、MVS 車載サーバはパフォーマンスと電力が特に重視される車載用途に理想的です。さらに、Intel® Core™ プロセッサ (MVS 5603 モデル) の Intel® Advanced Vector Extensions 2 (Intel® AVX2) は、最適化された命令によりメディアや浮動小数点演算のパフォーマンス強化を実現、こういった機能の強化により、MVS 車載サーバは映像解析に最適なアプリケーションとなっています。

パフォーマンスに加え、MVS 車載サーバは各種センサとのインターフェースや、高速インターネット通信を提供するために様々な接続機能を備えており、LPR システム、車載 NVR システム、車載用スイッチ & ゲートウェイ、Wi-Fi ルータ、フリートマネジメントシステム、車載用放送システムなどの機能を持ち合わせています。



### ポリスカーの車載サーバ

ポリスカーでの運用例を見てみましょう。まず、ルーフトップとトランクに備え付けられた 2 ~ 4 台の LPR カメラが、視界に入ったナンバープレートの画像を自動的に取得し、圧縮画像を NEXCOM の MVS 車載サーバに送ります。MVS 車載サーバはこれらの画像をデコードし、各画像の英数字をセグメント化して、特定の手配ナンバープレート一覧と照合します。そして、データベースと一致するナンバープレートが検出されると、車両ディスプレイ上に、警告と対象車両のライブビューが表示されます。

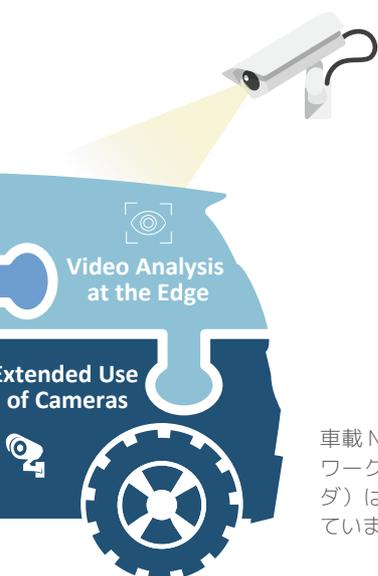
ポリスカーが車両に近づく際には、ダッシュボードカメラが録画し MVS 車載サーバに送信します。車載サーバはこの映像に車両情報 (時間、位置情報、速度、加速度、方角、ブレーキ操作) をタグ付けし、カーチェイスに

ポリスカーにおいて車載サーバは、LPR、車載 NVR、車載スイッチやゲートウェイ、フリートマネジメント、車載用放送システムなどの機能を備えています。

 Fleet Management System

 Vehicle Switch to Connect to Peripherals

# 2018 Spring 特集 1



Video Analysis  
at the Edge

Extended Use  
of Cameras

車載 NVR（車載向けネットワーク監視用ビデオレコーダ）は大きな課題に直面しています。

発展した場合には、オペレーションセンターに高解像度のライブ動画をストリーミング配信します。GPS 信号は電波干渉や遮へい物などにより断続的になりますが、MVS 車載サーバは、その前の GPS データ、車両速度、走行方向、加速度に基づいて位置を再計算し、オペレーションセンターに位置情報を送り続けます。この間、ポリスカーからオペレーションセンターへの無線報告や、スピーカを使用した対象車両ドライバーへの警告・指示などもすべて記録されます。逮捕となった場合は車内に備えつけられたカメラがこれを録画します。



## バスサービスにおける車載サーバ

バスサービスも MVS シリーズの恩恵を受けることができる車載アプリケーションです。セキュリティ監視用途に加え、カメラでバスの乗降客をカウントしたり、ドアセンサや券券機で乗客の利用状況を集計し、バス利用者の行動プロフィール作成を行う手助けをします。MVS 車載サーバは、DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）が有効になっており、カメラや周辺機器の交換の際に IP アドレスを再設定する必要がありません。

運行時の安全性確保のために、コントロールエリアネットワーク（CAN）および SAE J1939/J1708 プロトコルを介して、ドライバーの運転傾向、車両状態、診断メッセージなどを蓄積することができ、運行管理者はこれをもとに安全運転ガイドラインや予防保守計画を立て、交通事故のリスク軽減や、バス利用効率の向上につなげることが可能です。

MVS 車載サーバは車両テレマティクスデータをバックグラウンドで処理しながら、広告表示やバス運行情報の提供、ドライバーと乗客が会話するためのインターコムの利用を可能にします。また、Mini-PCIe と M.2 の拡張バスにより、最大 600Mbps の複数インターネット接続が可能となり、個別に Wi-Fi ルータを使用しなくても高品質な Wi-Fi サービスやリアルタイムのテレマティクスデータ通信を実現します。

## セキュリティリスクを避けて進む

機密性の高いデータや個人情報を扱う場合、情報セキュリティはもはや必須条件です。そこで MVS 車載サーバはセキュリティ上の懸念を軽減するため、車両、システム及びデータのそれぞれのレイヤーでセキュリティリスクを管理するための包括的アプローチをとっています。

Public Address System  
for Audio Communication

Automated License Plate  
Recognition for Quick Response

Vehicle Gateway for  
Wireless Communication

Mobile NVR System  
for Security Surveillance

## In Depth

車両のレイヤーでは、iButton 認証でドライバーを識別することで、不正なドライバーによる車両の発進を防止します。また、常時アクティブな追跡機能と動作検知を組み合わせることで、予定外の車両移動を検知して担当者にアラートメッセージを送信します。ビルトインのユーティリティに従い、管理者は事象の深刻度に応じ、緊急連絡リストに基づいた対策をとることができます。

システムのレイヤーでは、Intel® Trusted Execution Technology (Intel® TXT) が、BIOS、OS 及びソフトウェアの整合性を検証し、MVS 車載サーバをシステムレベルの攻撃から守ります。見えないバックドアがインストールされてしまうと、ルートキット、システムレベルの攻撃は再起動やハードディスクのクリーンアップではおさまらない場合があるため、MVS 車載サーバを「信頼できる」実行状態で立ち上げ、不正なシステム変更を抑止するために、Intel® TXT は極めて重要な役割を担います。

データのレイヤーでは、Intel® Advanced Encryption Standard New Instructions (Intel® AES-NI) が、HDD 全体の暗号化やファイルストレージの暗号化、インターネットセキュリティを含む様々な暗号化を実現するために、高速でセキュアな AES エンジンを提供しています。また、不正なシステムにおける HDD へのアクセスをブロックする TPM (Trusted Platform Module) によって、HDD の紛失・盗難時の情報漏洩を防ぎます。

### 過酷な運用環境に耐える

車載 PC の運用環境には様々な課題がありますが、MVS 車載サーバはこれらに対応できるような性能を備えてきました。例えば、HDD の保護について、MIL-STD-810G 規格に基づく耐振動性・耐衝撃性を実現しています。また重要データを扱う用途では、RAID によるバックアップにより、いずれかの HDD に障害が発生してもデータを保全できます。

車載 PC では、不安定な電源供給もシステムの安定性を



バスにおいて車載サーバは、車載 NVR、フリートマネジメント、車載用ルータや放送システム、広告やバス運行情報の提供などを扱います。

損ねる原因となります。そこで NEXCOM の電源管理システムでは、過渡電圧の変動や自動車バッテリーのピーク電圧などを考慮し、イグニッション ON・OFF 遅延、始動・遮断電圧の設定、9～36V の入力レンジといった対策によって、過不足なく電源を供給します。また急激な電力損失が起こった場合は、外部バッテリーを追加して独立電源の要求を満たすこともできます。

### 結論

デジタル・セキュリティと監視の分野には様々な潜在的用途が存在します。エッジコンピューティングの活用により、車両テレマティクスデータと統合されたビデオ画像は、より多くの情報を提供することができ、具体的な情報に変換することで、警察業務の支援や公共交通サービスの向上を図ることができます。エッジデバイスの機能を高めインテリジェンス化することは現実のものとなってきました。NEXCOM は高い堅牢性を備えた車載コンピューティング・ソリューションを促進することで、お客様が業務に対し新たな視点を持ち、継続的な運用改善を行うためのサポートをいたします。

In Depth

## 2018 Spring 特集 2

ターゲット広告のための  
スマートシェルフソリューション

The image illustrates a smart shelf solution. It features a dashboard with 'Qulvidi' branding and various charts, a 'VidiCenter Data Management Platform' cloud icon, and a 'Power DigiS' device labeled 'NDiS B325-SI3-QV'. Below these, a woman is seen from behind, holding a white bottle of body lotion. A circular overlay on her back shows 'VidiReports Automated Audience Analytics' with data: '2 Meters', '103 Viewers', and 'Senior Adult'. To her right, a digital shelf sign displays 'NEW BODY LOTION BUY ONE GET ONE FREE'.

近年ますます多くの小売店が、顧客行動をより深く理解するためにスマートシェルフの導入を検討しています。小売店はスマートシェルフを活用することで、顧客の属性を把握し、最新のプロモーションにとどまらず、それぞれの顧客に最も関連性のあるプロモーションに注意を向けさせることができるようになります。これは潜在的なセールスチャンスを通じて利益を押し上げ、顧客満足度を高めることにもつながります。

## In Depth

### ソリューションの概要

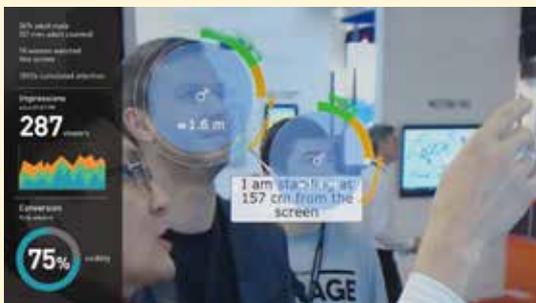
NEXCOMのスマートセルフソリューションには、デジタルサイネージプレーヤのNDiS B325-SI-QVや、映像から来店者が何に注目しているかを自動的に認識・解析するQuividiのVidiReports Pro、オンラインデータ管理のVidiCenterがあります。包括的なソリューションの形成にはNEXCOMのデジタルサイネージソフトウェアPowerDigiSも活用でき、効率的なコンテンツの提供や管理に加えて、購買層の統計レポートの収集・集計、サイネージのリモート管理などが可能となります。



### ソリューションパッケージ

#### 来店者とその注目先を自動解析 VidiReports Pro

実際に画面を見た人の数を正確にカウントしながら、おおよその客足を推計します。滞在時間、注目時間、購買層や来店者の動向を把握できるだけでなく、90%の精度で性別を識別し、来店者の年齢を4段階（子ども、若者、成人、シニア）に分類することができます。



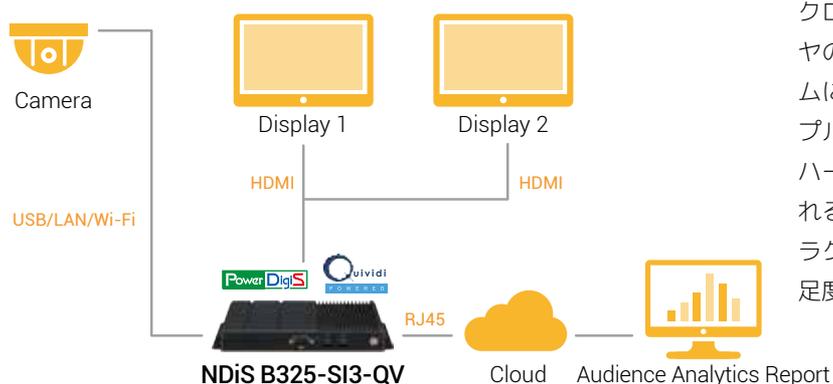
#### オンラインデータ管理 VidiCenter

拡張性の高いアーキテクチャの採用により、来店者とその目的や興味に関するデータをセキュアに収集します。Charts モジュール（使いやすいダッシュボードに、来店者の属性、時間、場所、コンテンツに関わる豊富なグラフを表示）や Management モジュール（店内に配置された各センサの管理とデータ収集などの様々な管理機能）を兼ね備えています。



# 2018 Spring 特集 2

## アプリケーションダイアグラム



スマートセルフソリューションならば、マイクロサーバによる解析処理とサイネージプレーヤのマルチメディア処理が単一プラットフォームに統合されるため、設置・保守の業務がシンプルになります。また、豊富なソフトウェアとハードウェアがオールインパッケージで提供されることにより、クライアントはすぐにインタラクティブなコンテンツの作成ができ、顧客満足度の向上に反映することが可能になります。

### コンテンツ管理

#### PowerDigiS (オプション)

来店者の属性データをもとに、それぞれの関心に応じたメッセージを表示することで、来店者とのインタラクションを可能とします。メッセージの配信をより効果的にするために、PowerDigiS はマルチゾーンレイアウトやリッチコンテンツ形式、ビデオウォール構成などにも対応しています。また、リモート管理によりコンテンツの更新やスケジュール設定も容易です。



### ハードウェアの仕様

#### デジタルサイネージプレーヤ

第6世代 Intel® Core™ i3-6100U プロセッサを搭載した高性能ハードウェア NDiS B325-SI3-QV によって、来店者の属性解析と美しいビジュアル表示の両立が可能です。また、NDiS B325-SI3-QV は、4K 動画コンテンツの再生、デュアル HDMI ポートによるマルチディスプレイ構成、リモートハードウェアアクセスのためのネットワーク接続に対応します。



## What's Hot

## 新製品情報

## 1 KPPC 1055A

スマートキオスクに最適な  
10.1 インチマルチタッチパネル PC

10.1 インチの液晶タッチパネル（静電容量）を搭載し IP65 に対応したキオスクパネル PC です。

16:9 ワイドタイプの 10.1 インチ (WXGA 1280x800) は 小型な入力装置やデジタルサイネージ等、様々なタッチ機能を必要としたキオスク端末やコントロールモニターにお使いいただけます。Intel® Celeron® N2930 CPU を搭載し Windows10 をサポートします。メタルハウジングや 0°C -60°C の動作保証温度、前面パネルは防水仕様の IP65、豊富な I/O、LTE サポート（オプション）等、設置場所を選らばないキオスク端末機を構築できます。取付けは、VESA マウントまたは本体背面の外周に用意された取付け穴より、フレキシブルなセッティングが可能です。工業用グレードを兼ね備えたキオスクパネル PC です。

- 10.1 インチ 16 : 9
- WXGA 1280 x 800 静電容量方式
- Intel® Celeron® N2930 搭載（1.83GHz）
- DDR3L SO-DIMM ソケット x 1 最大 8GB
- 2.5 インチベイ x 1
- RS232 x 1, RS232/485/422 x 1, LAN x 2
- USB 2.0 x 3, USB 3.0 x 1, VGA x 1, Audio out x 1
- Mini-PCIe ソケット x 2（うち mSATA x 1）
- 防塵防滴規格 IP65 準拠（フロント部のみ）

KPPC 1055A 前面



KPPC 1055A 底面

## 2 VTC 1011

コンパクトなエントリーレベル  
車載用テレマティクスコンピュータ

車内の限られたスペースにも設置可能な、堅牢でコンパクトなデザインの車載用テレマティクスコンピュータです。VTC 1011-C2VK は、専用モニター（車載ディスプレイ VMD 2003）と専用ケーブルのみで接続が可能です。



VTC 1011 背面

## 【共通仕様】

- Intel Atom® E3825 搭載（Dual Core, 1.46GHz）
- DDR3L SO-DIMM ソケット x 1 2GB 搭載済（最大 8GB）
- RS232 x 2, RS232/RS422/RS485 x 1, LAN (PoE) x 2
- USB2.0 x 2, DI x 4, DO x 4
- HDMI x 1, VGA x 1, Line-out x 1, Mic x 1
- Mini-PCIe スロット x 2（うち mSATA x 1）
- 2.5 インチベイ x 1, mSATA x 1
- GPS, CAN2.0B, Micro-SIM スロット x 2
- 9~36V DC 入力 CE, FCC, E13
- オプション：CAN2.0B/J1708/J1939 より選択
- 185mm (W) x 151mm (D) x 45mm (H), 1.3 kg
- -40°C ~ 70°C (w/o PoE) -40°C ~ 60°C (w/ PoE)



VTC 1011-C2K 前面



VTC 1011-C2VK 前面

## What's Hot

# SOHO からエンタープライズまで ネットワークの NEXCOM がお届けする コミュニケーション&ネットワーク ソリューションのご紹介



ブレードサーバ  
Hi-Server309

ブレードサーバ  
Hi-Server318



NEXCOM の売上げの約 45% は、ネットワーク機器を担当するビジネスユニットが販売する NSA/DNA シリーズ、またそれらをベースとした ODM 製品が締め、世界中の名だたるソフトウェア関連企業に販売されています。

ネクコム・ジャパンがビジネスをスタートした 2001 年に、初めてのネットワーク機器として、小型 SOHO 向け EBS1563 (Intel LAN x3 + VIA C3 CPU) を世に送り出し大きな成果をあげました。また同年には、ブレードサーバ Hi-Server309 (3U x 9 ブレード) も発売しました (その後 NEX Blade に名称変更)。翌年 2002 年には、Hi-Server318 (3U x 18 ブレード) や、Pentium4 を搭載した初の 19 インチラックマウント型 NSA1035 を発売し、当時 NEXCOM はネットワーク機器メーカーとしての認知度の方が高かったかと思います。



小型 SOHO 向け  
EBS1563

当時から日本には世界をターゲットにするソフトウェア供給ベンダーが少なく、日本のデータセンターは、ユーザーとして海外のアプライアンスベンダから機器を購入する傾向があり、その後は直接国内にハードウェアを供給することが少なくなりました。しかしながら国内のデータセンターでも海外経由で NEXCOM のアプライアンス製品は名前を変え相当数が運用されています。



NSA1035

2005 年頃からネクコム・ジャパンも、ネットワーク機器より、ファンレスコンピュータにシフトした販売戦略を取ってきました。ただし 10 年以上の時間が経過し、昨今では IoT や Industry4.0 と時代も大きく変わり、FA 機器やリテール機器といえどもネットワークを無視できない状況になりました。今新しい形で、NEXCOM ネットワークアプライアンスの国内市場への供給を再開するプロローグとして、世界でメジャーな 4 機種のご紹介いたします。

What's Hot

DNA 130-E

## SOHO のネットワーク通信に 関わるセキュリティリスクを軽減

**N**EXCOM の「DNA 130-E」が、SOHO（個人・小規模オフィス）のセキュリティ脅威を抑止し、ネットワーク通信を守ります。SOHO ユーザのネットワークセキュリティに関わる懸念は日々増大していますが、NEXCOMはこれに対応するため、優れたパフォーマンス、スループット、ワイヤレス機能を備えたデスクトップネットワーク機器「DNA 130-E」を開発しました。「DNA 130-E」はネットワーク通信のニーズに対応しつつ、様々なセキュリティ機能によって SOHO における知的財産、重要データ、企業イメージを守ります。

SOHO ネットワークでの利用を想定し、「DNA 130-E」は費用対効果の高いデスクトップネットワーク機器としてデュアルコア Intel® Celeron® プロセッサ N3350 と 4GB の DDR3L メモリを備えています。「DNA 130-E」はネットワークトラフィックから、疑わしいネットワーク攻撃を検知・ブロックし、マルウェアや海賊サイトを

選別して排除し、仮想プライベートネットワーク (VPN) 上のデータの暗号化も行います。また、感染したファイルを隔離して、ビデオ会議やクラウド連携、その他様々な事業活動を行うネットワーク通信のために、安全でクリーンなネットワーク環境を確保します。

モバイルデバイスのどこからでもアクセスできる利便性を考慮して、デスクトップネットワーク機器「DNA 130-E」は、有線と無線の両方の接続に対応し、LAN x 4 ポートの有線接続と、Mini-PCIe による Wi-Fi 接続が可能です。また、ワークステーションやオフィス機器の枠を超えて、スマートフォンやタブレット、その他のハンディターミナルにもセキュリティ保護を拡張できます。



What's Hot

DNA 1160



## NEXCOM のデスクトップネットワーク製品で NFV をネットワークエッジまで拡張

NEXCOM のデスクトップネットワーク機器「DNA 1160」は、ネットワーク仮想化 (NFV) をネットワークエッジにまで拡張し、通信サービスプロバイダ (CSP) のサービスプロビジョニングを合理化します。Intel Atom® プロセッサ C3000 ファミリーを搭載し、最大マルチコアコンピューティングのパフォーマンス、仮想化・暗号化・圧縮処理におけるハードウェアのアクセラレーション、また、LAN x8 ポートを統合することで、SOHO やホームオフィス、中小企業 (SMB) のユーザ向けに迅速にサービスを行い、フレキシブルなサービスの拡張のための確実性・信頼性の高いソフトウェアによるインフラを構築します。

「DNA 1160」では、仮想マシンを実行するための信頼性の高い仮想環境を構築できます。最大 32GB の DDR4 ECC メモリと Intel® Virtualization Technology (Intel® VT) を活用することでハードウェアリソースを効果的に分配、メモリ消費量の多い仮想化作業を処理し、I/O の仮想化に対応しながら仮想ネットワークのための演算力を確保できます。これにより、仮想マシンのスムーズな

開発とネットワーク機能の効果的な運用を実現します。

さらに「DNA 1160」は、Intel® QuickAssist Technology によりネットワークアプリケーションのパフォーマンスを向上させます。パケット暗号化 / 復号化、圧縮 / ファイアウォールのための解凍、統合脅威管理 (UTM)、ディープ・パケット・インスペクション (DPI) を促進し、ネットワークのセキュリティを強化します。また HTTPS、SSL、仮想プライベートネットワーク (VPN) の暗号化を強化し、データの盗難やなりすましのリスクを軽減することでセキュアなデータ送受信を可能にします。

「DNA 1160」はファンレス対応のデスクトップネットワーク機器として、静音で安定した運用により SOHO、ホームオフィス、中小企業ユーザが直面する課題を解決できます。



## What's Hot



NSA 3170

## 様々なセキュリティに対応し柔軟に 中小企業のネットワークセキュリティを守る

**N**EXCOMの1U ネットワークセキュリティアプリケーション「NSA 3170」シリーズは、柔軟性の高いパフォーマンスで、中小企業向けのセキュリティ対策の向上を支えます。「NSA 3170」シリーズはスケーラブルな演算パフォーマンスに、拡張性の高いネットワーク接続、設定のしやすい接続機能を備えており、ファイアウォールや統合脅威管理（UTM）、不正侵入検知・保護システムやウイルス対策により、中小企業ネットワークセキュリティの目的を達成します。

「NSA 3170」シリーズでは、第6、7世代のIntel® Xeon®、Core™、Pentium®、Celeron® プロセッサから選択し、演算パフォーマンスを拡張できます。最大4つの演算コアに対応し、Intel® Turbo Boost Technology による3.9 GHz～4.2 GHzの動作周波数、32GBのDDR4 ECCメモリにより、中・高レベルのセキュリティポリシーの実行や、大量のネットワークトラフィックの高速処理が可能になります。また、中小企業用途としてトラフィックフローのフィルタリングが可能で、ネットワークトラ

フィックを抑えることなく、パケットタイプや接続状態などに基づくネットワークアクセス管理を行い、ネットワークセキュリティと生産性のバランスを効果的に保つことができます。

ネットワークのセグメント化に対応するため、「NSA 3170」シリーズではLAN モジュールが搭載可能です。デフォルトのLAN 構成の他にも、中小企業のニーズに合わせて様々な接続インターフェース、接続速度、LAN ポート数を選択できます。また、ネットワークが各部署のニーズにあわせて分割されているような場合には、最大16個のLAN ポートを構成したり、高速10 GbE 接続によってビジネetworkの高スループット要求にも対応できます。



## What's Hot

Phishing Scam

Hackers



NSA 7145

## エンタープライズネットワークにおけるセキュリティとパフォーマンスのバランスを保つ

**N**EXCOMの「NSA 7145」はネットワークセキュリティとパフォーマンスのバランスを取り、ネットワークトラフィックのセキュリティと柔軟性を担保します。Intel® Xeon® スケーラブルプロセッサを備えた「NSA 7145」は、FPGA、ネットワーク負荷アクセラレーションのためのIntel® QuickAssist Technology、さらには高速100 GbE 接続への対応により、パフォーマンスを拡張できます。この「NSA 7145」を活用することで、企業は高度なセキュリティ管理メカニズムを実装し、増加するネットワーク攻撃を回避することが可能となります。

NEXCOMのNCS (Network and Communication Solutions) グループのBG、Hadwin Liuは言います。「ネットワーク攻撃が増加し巧妙になるにつれ、ネットワークセキュリティ機器にはより高い能力が求められています。ネットワークに侵害がないよう保護し、ネットワークを通じたサービスデリバリーの可用性を確保するとともに、対価に見合う価値を示さなければならないのです。これらを達成するため、NEXCOMの「NSA 7145」は、デュアルプロセッサ構成でIntel® Xeon® スケーラブルプロセッサを搭載し、100 GbE 接続で暗号化、圧縮、仮想化、モジュール拡張を高速化しました。ネットワーク仮想化 (NFV) への加速的移行にともない、「NSA 7145」はネットワークセキュリティ仮想化などのネットワーク用途で、SDI (ソフトウェアによって定義・制御可能なインフラストラクチャ) としても利用できます。」

Intel® Xeon® スケーラブルプロセッサシリーズは幅広い用途に活用できます。これらは、処理を最適化するパフォーマンスと、ハードウェアによるセキュリティ機能を実現するために設計されており、パフォーマンス、省電力、セキュリティ、マネージャビリティ、サービサビリティが向上します。また、ハイパフォーマンスコンピューティング、クラウド、エンタープライズセグメントのための高速化に伴い、通信事業者に新たなビジネスチャンスをもたらします。

「NSA 7145」はエンタープライズネットワークを強化するためのハイコンピューティングパワーを備え、FPGA統合により独自のセキュリティアルゴリズムを実現します。また暗号化/復号化、圧縮/解凍のためのハードウェアアクセラレーションを可能とするIntel® QuickAssistにより、「NSA 7145」は、ネットワークセキュリティ、高速な計算を必要とするアプリケーションのパフォーマンスも同様に向上させます。加えて、メモリ消費の激しいNFVのための大容量メモリや、トラフィックのボトルネックを軽減するための100 GbE 接続などで構成されています。



# 有償製品にも劣らない品質と機能を持つ オープンソースのシステム統合監視ソフトウェア

Zabbix Japan はオープンソースの統合監視ソフトウェア Zabbix を開発するラトビア Zabbix 社の日本支社で、日本国内向けに Zabbix の技術サポート、パートナーシップ、トレーニングなどのサービスを提供しています。

Zabbix はオープンソースとして開発し、公開しているシステム統合監視ソフトウェアです。システムの監視に必要なデータ収集・障害検知・通知・グラフ表示などの機能を一通り持ちながらも、すべての機能を無償で利用できることから幅広い業種のシステムに活用いただいています。近年では有償製品と比較しても品質・機能面でも劣らないことを評価いただき、製造業や金融、通信業の企業様でも新規の導入や既存の監視システムからのリプレースで活用いただいています。

Zabbix は Linux, Windows の他に AIX, HP-UX, Solaris, BSD 系 OS や Mac OS まで対応したエージェントを利用してサーバ監視ができるほか、SNMP を利用したネットワーク機器やストレージ装置の監視、URL による Web ページ監視、IPMI を利用したサーバハードウェア監視など様々な監視機能を標準で有しており、Web インターフェースから障害状況の確認やリソース使用状況のグラフ化などが行えます。

Zabbix はオープンソースでありながらも企業で開発し、必要に応じて公式なサポートやトレーニングサービスを利用できる点も大きなメリットです。製品の開発も企業とし

て行っているため、ソフトウェア自体は無償でありながら開発の継続性もあり、必要に応じてサービスを活用いただくことで、有償製品と遜色なく安心して利用いただけます。

Zabbix はソフトウェアとして提供しており、Linux サーバ上にインストールすることで利用が可能です。弊社サイト [zabbix.com](http://zabbix.com) からソフトウェアを配布しており、どなたでも無償でダウンロードしすべての機能を活用することが可能です。システム監視やシステム内のリソース値データ収集・グラフ化をまずは低コストで初めてみたいという方はぜひお試しください。



Zabbix Enterprise Appliance ZS-7300  
ハードウェアアプライアンス

## Zabbix 画面

オープンソースのシステム統合監視ソフトウェア



また、Zabbix をより導入しやすいように、ネクスコムハードウェアを活用し、Zabbix Enterprise Appliance の名称でハードウェアアプライアンスとしての提供を行っています。アプライアンスとして提供することで、OS や Zabbix ソフトウェアのインストールの手間を減らし監視システムを導入することができ、また管理も容易になることから多くのユーザー様に導入いただいています。

## Technology Partners

## Interop Tokyo 2018 へ Zabbix も出展

2018年6月13日から15日まで、幕張メッセで開催される Interop Tokyo 2018 へ Zabbix も出展を予定しています。今年で出展は6年目になり、毎年日本国内のパートナーと共同でブースを出し、Zabbix を中心とした様々なシステム運用や管理に役立つソリューションを展示しています。Zabbix Enterprise Appliance の展示や簡単に導入できるソリューションの紹介も行います。

2018年の5-6月には新しいメジャーバージョン Zabbix 4.0 のリリースを控えており、Interop Tokyo 2018 では Zabbix 4.0 の展示も行う予定です。会場にお越しの際にはぜひ Zabbix ブースにもお立ち寄りください。ブースでは Zabbix および共同出展パートナー各社のソリューションのご紹介のほか、出展各社による15分のショートセミナーを行っています。詳細は下記の Interop 特設ページにも順次掲載を行う予定です (<https://www.zabbix.com/jp/interop2018#upcoming>)。

Interop では会場のネットワーク環境を提供する ShowNet というイベントが毎年開始され、Interop 出展ベンダーが最新の機器を投じて最新鋭のネットワークを構築しています。Zabbix も毎年参加し、ShowNet 環境の監視を行っています。

およそ700台程度のネットワーク機器、仮想基盤の監視を Zabbix Enterprise Appliance ZS-7000 シリーズを利用して監視を行い、実際に監視を行なっている機器を動態展示する予定です。会場へお越しになった際にはぜひラックマウントされている



Zabbix Enterprise Appliance を探してみてください。Zabbix ブースでは実際に ShowNet 環境を監視している状況のライブデモを見ていただくこともできます。

また、2017年より Zabbix と直接通信ができる温湿度・気圧センサーを利用した ShowNet 環境のサーバラックの温度監視も実施しています。仮設のサーバラックのため温度管理が重要な環境であり、温度、湿度、気圧を安価かつ簡単に監視できるセンサーを利用し、サーバやネットワーク機器の監視だけではなく IoT のソリューションとしても Zabbix を活用できる実例としてご参考頂けると幸いです。



ShowNet 環境監視のライブデモ



温湿度・気圧センサー

今回ご紹介したパートナー企業はこちら

## Zabbix Japan LLC

ZABBIX

〒105-0021  
東京都港区東新橋 2-16-3 カーザベルソーレ 8F  
Tel: 03-4405-7338 (代表)  
E-mail: sales@zabbix.co.jp  
WEB: <https://www.zabbix.com/jp>

Zabbix Japan は東京に本社を置く Zabbix 社の日本子会社です。日本国内の Zabbix ユーザーや Zabbix パートナーを支援するために 2012 年に設立し、サポート、トレーニング、コンサルティング、パートナープログラムなど公式なサービスを提供しています。



寺島 広大 氏

Zabbix Japan LLC 代表

## Tech Review

# Windows10 IoT Enterprise へ移行するメリット セキュリティ強化とコストダウン

このコーナーでは、Windows10 へ移行への必要性、課題点等を掘り下げてご紹介いたします

Windows7 Pro For Embedded Systems (以下 FES7) はすでに延長サポート期間にあり、2020年1月14日でEOS (End Of Support) になります。Windows Embedded Standard7 (以下 WES7) も同様で、2020年10月13日でサポートが終了になります。

延長サポート終了からライセンス販売終了 (EOL: End of Life) までには、まだ数年の間があり、これらの Windows を用いたシステムも使い続けることは可能です。しかし FES7/WES7 は、仮にサポート終了後に脆弱性が発見された場合、セキュリティ更新プログラムが提供されないため、新種のコンピュータウイルスや悪意のあるソフトウェアなどに対応することができません。すでに一部のセキュリティ更新プログラムも、Microsoft の公開サーバ、非公開サーバ共に提供を終了しました。そこで Microsoft では最新の Windows10 IoT Enterprise (以下 Windows10) への早期移行を推奨しています。

## ■ セキュリティの強化とコストダウン

Windows10 では、セキュリティが強化されるだけでなく、搭載するプロセッサ (CPU) に応じて、“High End”、“Value”、“Entry”の3種類のライセンス価格体系となり、例えば Atom 系プロセッサを使用すると、大幅なコスト削減が実現します。

## ■ 課題 1. IoT 化

以前の NEXCOM Express Winter 2017 でも紹介しましたが、Microsoft は Windows10 を WaaS (Windows as a Service) と呼ぶ新たな方針を用いています。基本的に、2015年に発売を開始した Windows10 をベースに、ネットワークを経由した Windows Update を通じて機能を強化、頻繁に改善を積み重ねていく仕組みになります。これにより、Windows10 がインストールされた機器は、同一水準のセキュリティレベルを保つことが可能です。

一方、“IoT”の名称が追加された通り、ネットワークへの接続が前提となり、原則としてセキュリティ更新を停止することは推奨されません。また、更新プログラムは個別ではなく、すべての更新プログラムをインストールします。更新プログラムは累積的であり、各更新プログラムには、それ以前のすべての更新が含まれ、サポートされる最良の状態を保つには、デバイスに最新の更新プログラムをインストールし、機器をネットワークへ接続するためのシステム設計や、インストールや再起動のためのダウンタイム時間を考慮しなければなりません。

## ■ 課題 2. 新しいプロセッサと 64bit 対応

もう一つ重要な点として、現在 Intel が発売している Embedded 向けのプロセッサのほとんどは、Windows10 32bit/64bit をサポートしますが、今後発売される第8世代 Core プロセッサ (Coffee Lake) や Atom プロセッサ (Apollo Lake) などの新型の Embedded 向けのプロセッサは、64bit のみのサポートに限定されます。アプリケーションソフトは 64bit/32bit でもほとんどが動作しますが、64bit のデバイスドライバが必要となるような周辺機器を使用する際は、対応の確認が必要です。

## ■ Windows10 の現状

上記のように懸念される事項も多々ありますが、ネクスコム・ジャパンの昨年度総出荷数のうち、すでに 27% が Windows10 となり、制御機器、監視装置、デジタルサイネージ、車載 PC など幅広い分野で採用され、過去の Windows 移行よりも相当早く推移しています。これはデメリットよりもメリットの方が大きいことを証明しています。ネクスコム・ジャパンでは Windows10 インストール済の評価用貸出機も用意していますので、この機会に、FES7/WES7 からメリットの多い Windows10 へ早期の移行を検討され、すぐに準備を開始されることを推奨します。

協力：菱洋エレクトロ株式会社

## ■ 移行後の便利なユーティリティ『Windows10 Lockdown Manager』

Windows10 への移行に際し、日本マイクロソフトの代理店である菱洋エレクトロより『Windows10 Lockdown Manager』（64bit 版）の配布を開始いたしました。Lockdown とは利用者に限られた操作だけを許可し、不要な操作を防ぐことです。当初 Windows Embedded OS には、Lockdown 機能を GUI 上で簡単に設定可能なツール『Embedded Lockdown Manager』が標準搭載されていましたが、Windows10 ではこのようなツールが搭載され

ず、使用する Lockdown 機能の設定を CUI（コマンドライン）にて個別に構成しなければなりません。そこで、以下の4つの Lockdown 機能を GUI 上で設定することができる『Windows10 Lockdown Manager』の開発に至りました。この機会に Windows10 へ移行後に快適な使用環境を構築することが可能となります。

『Windows10 Lockdown Manager』は、ネクスコム・ジャパンのテクニカルサポートページにて配布予定です。

### Windows10 Lockdown Manager 設定画面



#### 統合書き込みフィルター

ストレージメディアへ書き込みを少なくすることでデバイスの摩耗を低減し、再起動ごとに必ず設定時の状態に戻す機能

項目名	説明	
統合書き込みフィルター	統合書き込みフィルターの有効/無効を切り替えます ※再起動後に反映されます	ボタンクリックでダイアログ表示 現在の状態:無効 再起動後の状態:無効
USBフィルター	USBフィルター	
シェルランチャー	シェルランチャー	
キーボードフィルター	キーボードフィルター	
保護するボリュームを指定	write filter有効時に保護するボリュームを指定します。	ボリューム選択ダイアログを表示

#### USBフィルター

事前に許可された信頼するUSBデバイスのみがシステムに接続可能となり、不用意な動作やUSBメモリ等からのプログラムの導入やデータ流出を防ぐ機能

項目名	説明	
統合書き込みフィルター	統合書き込みフィルターの有効/無効を切り替えます	ボタンクリックでダイアログ表示
USBフィルター	USBデバイスの登録とフィルターの有効/無効の切り替え	使用したいデバイスを登録します。 登録されていないデバイスは使用できません。
シェルランチャー	シェルランチャー	
キーボードフィルター	キーボードフィルター	
		設定ダイアログを表示

#### シェルランチャー

ログインユーザー別に画面の利用範囲に応じた設定や、管理者用設定などがフレキシブルに設定できる機能

項目名	説明	
統合書き込みフィルター	統合書き込みフィルターの有効/無効を切り替えます	ボタンクリックでダイアログ表示
USBフィルター	USBデバイスの登録とフィルターの有効/無効の切り替え	
シェルランチャー	シェルランチャー	
キーボードフィルター	キーボードフィルター	
デフォルトシェルの設定	デフォルトシェルの設定・確認をします。	デフォルトシェル設定ダイアログ表示
カスタムシェルの設定	カスタムシェルの設定・確認をします。	カスタムシェル設定ダイアログ表示
シェルランチャーの有効/無効	シェルランチャーの有効/無効を切り替えます。	Shellの状態:無効

#### キーボードフィルター

特定のキーを組み合わせ動作可否の設定を行うことで、不用意なキーボードリセットや画面回転などを禁止できる機能

項目名	説明	
統合書き込みフィルター	統合書き込みフィルターの有効/無効を切り替えます	ボタンクリックでダイアログ表示
USBフィルター	USBデバイスの登録とフィルターの有効/無効の切り替え	
シェルランチャー	シェルランチャー	
キーボードフィルター	キーボードフィルター	
特定のキーの組み合わせの許可/禁止の切り替え	特定のキーの組み合わせの許可と禁止を切り替えます。 チェックがついていると有効(禁止)です。	キー選択ダイアログを表示

菱洋エレクトロ株式会社 セミナーのページ <http://www.ryoyo.co.jp/seminar-information.html>

菱洋エレクトロでは Windows Embedded Standard 系のプラットフォームからの移行のヒントや、Windows10 IoT Enterprise の機能詳細などのセミナーを定期的に行っております。詳しくはセミナーのページをご覧ください。

今日から使える？

## IPC 中国語会話 「静電服を着てください」

このコーナーでは、毎回コンピュータ関連の仕事に従事されている方が、台湾ですぐに使える簡単で実用的な中国語を少しずつ学習していくコーナーですが、台湾の文化や豆知識についてもわずかですが理解することができるよう構成しました。今回は前回に引き続き工場見学をテーマに、実際に工場に到着し担当者やり取りを行うシーンから学習していきましょう。工場見学の担当者と会って挨拶から最初の工程である SMT ラインのフロアへ行くところから始まります。キーワードと会話の流れを想像してください。キーワードは「紹介」、「静電服」、フロアを示す「7階」、「わかりました」などです。では発音してみてください。

ウオシー ピーシン チェン

担当者：「我是 QA, 敝姓 陳。  
QAの陳と申します。」

シエンツォン チーロウダ STMシエン カイシー ジェシャオ  
先從 7樓的 SMT線 開始 介紹。  
7階のSMTラインからご案内いたします。

ファングァンチエン フー シエン チュアンシヤン ファンジンディエン フー  
參觀 前, 請 先 穿上 防靜電服。  
見学に進む前に、こちらの静電服を着てください。

シェシェ チンウェン チェ アシーシエンムオ?

お客様：「謝謝. 請問 這是 什麼?」  
ありがとうございます。これは何ですか?

ナーシー マオズー ハン シエタオ  
担当者：「那是 帽子 和 鞋套。」  
帽子と靴カバーです。



チーダオラ ナー チェアヤン クイーラ マ

お客様：「知道了. 那 這樣 可以了 嗎?」  
わかりました。これでいいでしょうか?

アー! ニ ジャンシエタオ ダイダオ トゥシヤンチュエラ

担当者：「啊!! 您 將 鞋套 戴到 頭上 去了。」  
ええっ! お客様が被られているのは靴カバーですよ。

NEXCOMの工場は、7階のSMTラインからスタートして、8階のDIPライン、9階のアセンブリラインへと完成することに1階ずつ上がっていきます。完成後は6階の倉庫に移動します。工場に入る際は、静電服を重ね着して、紙製の白い帽子をかぶって、ブルーの靴カバーを靴の上からかぶせます。その後エアーカーテンを通り工場内に入ります。帽子と靴カバーは似ているので今回のお客様は間違えてしまったようです。「帽子」は日本語と同じ、「紹介」は日本語と反対ですね。『これは何ですか?』『これでいいでしょうか?』はいつも使えるフレーズなので丸暗記してくださいね。ネクスコムではご希望があればいつでも工場見学を承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

毎年6月のCOMPUTEX TAIPEIや8月のTAIROS(台湾オートメーション・ロボットショー)等の展示会で、台北へお越しいただくついでに工場見学の依頼が多くありますので、季節的にこれから工場見学シーズンに突入します。工場見学の所要時間は1-2時間程度ですが、ODMのお客様が時々依頼される工場監査は1-2日かけて、工場の問題点を指摘いただき、必要に応じて改善するという見学より重たいミッションです。こちらも大量??のODMの受注を受ける場合に承ります。NEXCOMは“Made in Taiwan”を貫いて、台北市の隣の新北市板橋工場で製造していますが、手狭になったこととリスクヘッジのため、今年の8月頃から台北と桃園空港の中間あたりの、林口(リンコウ)に第2工場を稼働させます。昨年1月に台北と桃園空港を結ぶMRT(台北捷運:台北市を走る地下鉄・新交通システム)が開通し、便利なロケーションになりました。是非新工場の見学にもお越しくください。“Made in Taiwan”のPCは今では珍しい存在です。

このコーナーに掲載をご希望される会話やキーワードがありましたら、マーケティング部までご連絡ください。ではまた次回お会いしましょう。再見!!

「O△x!!◇(\$&) できましたか? 難しかったですか?!  
今回は一般的な日常会話も含まれていましたね。

### 今日のキーワード

チーロウ

7樓 7階

チェ アシーシエンムオ

這是什麼 これは何ですか

ジェシャオ

介紹 紹介

マオズー

帽子 帽子

チュアン

穿 着る

シエタオ

鞋套 靴カバー

ファンジンディエン フー

防靜電服 静電服

チーダオラ

知道了 分かりました



## 【台北展示会情報】

COMPUTEX TAIPEI 2018

TAIROS (台湾機器人興智慧自動化展)

2018. 6.5 - 6.9 台北世界貿易センター / 南港館

2018. 8.29 - 9.1 南港館

## Editor's note ~後書きコラム~

### Industry4.0と統合監視

前回はおクリスマス前の慌ただしい時期にお会いしましたが、今はゴールデンウィークも終わり、初夏を感じる時期になってきました。最近では春夏秋冬の春と秋が無くなって夏と冬だけのような気もします。とはいえ今年の花粉症は長い期間『非常に多い』が続き、辛かった方も多かったことでしょう。

さて今回の特集は車載サーバとスマートシェルフソリューション。また、『ネットワークのNEXCOM』復活としてネットワークアプライアンス製品の一部もご覧いただきましたがいかがだったでしょうか？テクニカルパートナーのコーナーには統合監視システム ZABBIX JAPAN に原稿をお願いしました。8年ほど前に ZABBIX と FA の融合を企てましたが、時期が早すぎて誰からも関心を持っていただけませんでした。時間が経過し IoT、Industry4.0 とやっとな FA 機

器もネットワークと接続され、クラウド・AI と進むと、当然 PC の台数も増え、PC の監視が重要項目になってきます。また ZABBIX から直接コントロールできるセンサ類も登場し Industry4.0 の一つの要素としてご提供できればなと思っています。ZABBIX の本社はラトビア。目次ページの写真のように世界遺産にも選定されたとっても美しい街ですが、IT が盛んなことでも有名です。ここで生まれたソフトウェアにより皆さんが使う PC の状態をシベリアに監視してくれるのも近い将来と思っています。

前回皆さんをお誘いしたてまえ、上野動物園の「香（シャンシャン）」に会いに行ってきました。どんどん大きくなってすぐに親パンダと同サイズになってしまうので、可愛いうちに見たい方はお早めに！！

胖田五郎

## お問合せ営業窓口

株式会社ネクコム・ジャパン 営業部

〒108-0014 東京都港区芝4-11-5 田町ハラビル9階

Tel: 03-5419-7830 Email: sales@nexcom-jp.com

www.nexcom-jp.com

### アメリカ

NEXCOM USA

2883 Bayview Drive,  
Fremont CA 94538, USA  
Tel: +1-510-656-2248  
Fax: +1-510-656-2158  
Email: sales@nexcom.com  
www.nexcom.com

### アジア

台湾本社

NEXCOM International Co., Ltd. (開発・生産拠点)  
9F, No.920, Chung-Cheng Rd.,  
ZhongHe District,  
New Taipei City, 23586, Taiwan, R.O.C.  
Tel: +886-2-8226-7786  
Fax: +886-2-8226-7782  
www.nexcom.com.tw

NEXCOM Intelligent Systems

台北事務所

13F, No.920, Chung-Cheng Rd.,  
ZhongHe District,  
New Taipei City, 23586, Taiwan, R.O.C.  
Tel: +886-2-8226-7796  
Fax: +886-2-8226-7792  
www.nexcom.com.tw

NEXCOM Intelligent Systems

台中事務所

16F, No. 250, Sec. 2, Chongde Rd.,  
Beitun Dist.,  
Taichung City 406, R.O.C.  
Tel: +886-4-2249-1179  
Fax: +886-4-2249-1172  
www.nexcom.com.tw

### 中国

NEXCOM China (北京支社)

5F, Bldg. 4, No. 7 Fengxian middle Rd.,  
Haidian Disitric,  
Beijing, 100094, China  
Tel: +86-10-5704-2680  
Fax: +86-10-5704-2681  
Email: sales@nexcom.cn  
www.nexcom.cn

NEXCOM Shanghai (上海事務所)

Room 603/604, Bldg. 1, Huiyinmingzun Plaza,  
No.609, Yunlin East Rd.,  
Shanghai, 200062, China  
Tel: +86-21-5278-5868  
Fax: +86-21-3251-6358  
Email: sales@nexcom.cn  
www.nexcom.cn

NEXCOM サーベイランス テクノロジー (深圳)

2F, Room 201, Zone B,  
Guangming Industrial Park, No. 24,  
Zhonghua Rd., Longhua New District,  
Shenzhen, 518131, China  
Tel: +86-755-8364-7768  
Fax: +86-755-8364-7738  
Email: steveyang@nexcom.com.tw  
www.nexcom.cn

NEXCOM ユナイテッド システムサービス (上海)

Room 305, Bldg. A, Jinshajiang West Rd.,  
No. 568, Jiading District,  
Shanghai, 201803, China  
Tel: +86-21-6125-8282  
Fax: +86-21-6125-8281  
Email: service@nexcom.com.tw  
www.nexcom.cn

NEXGOL

1st Bldg., No. 999 Star Boulevard,  
Yongchuan District,  
Chongqing, 402160, China  
Tel: +86-177-8438-8131  
Email: sales@nexgol.com.cn  
www.nexcom.cn

### ヨーロッパ

イギリス

NEXCOM EUROPE

10 Vincent Avenue,  
Crownhill Business Centre,  
Milton Keynes, Buckinghamshire  
MK8 0AB, United Kingdom  
Tel: +44-1908-267121  
Fax: +44-1908-262042  
Email: sales.uk@nexcom.eu  
www.nexcom.eu

イタリア

NEXCOM ITALIA S.r.l

Via Lanino 42,  
21047 Saronno (VA), Italia  
Tel: +39 02 9628 0333  
Fax: +39 02 9625570  
Email: nexcomitalia@nexcom.eu  
www.nexcomitalia.it

## Event Info

国内

### ET West & IoT Technology West 2018 (ET/IoT 総合技術展 関西)

2018年7月5日(木)～6日(金) 主催: 一般社団法人組込みシステム技術協会  
会場: グランフロント大阪 コングレコンベンションセンター

海外

### ハノーバーメッセ 2018 (HANNOVER MESSE 2018)

2018年4月23日(月)～27日(金) 主催: Deutsche Messe  
会場: Deutsche Messe, Hannover/Germany

### TAIROS (Taiwan Automation Intelligence and Robot Show)

2018年8月29日(水)～9月1日(土)

主催: Taiwan Automation Intelligence and Robotics Association, Chan Chao International Co., Ltd.

会場: Taipei Nangang Exhibition Center, Hall 1, 1F



○会社名、商品名称は各社の商標または登録商標です。  
○本情報誌に記載されている内容は製品改良のため、予告なく仕様・デザイン等を変更する場合があります。  
○本情報誌の記載内容は2018年4月現在のものです。  
©NEXCOM Japan Co., Ltd. 2018